

情報化支援

サポセンの
パソコン講座は

PTA

町内会

市民活動

をする人たちのための

ボランティア

ワードや エクセルが

学べます

基礎から

これから

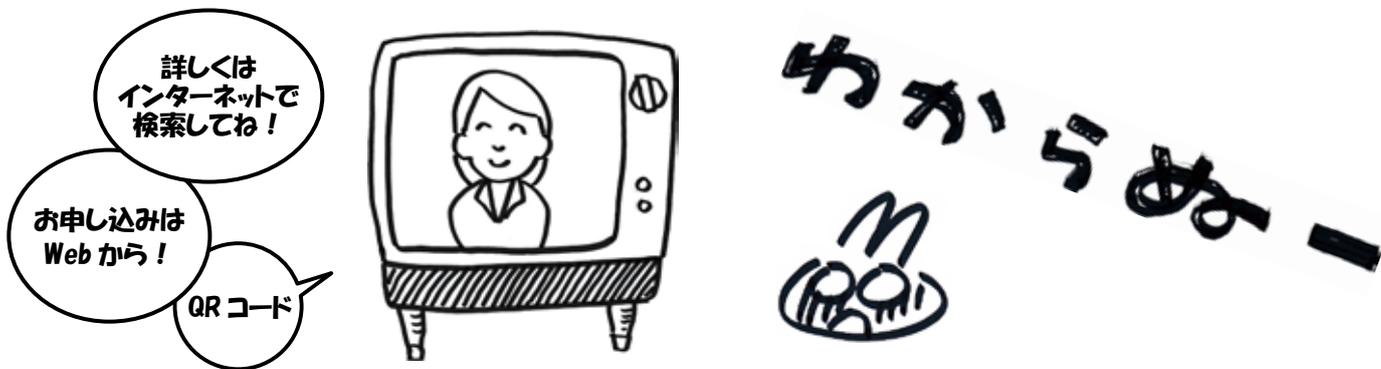
市民活動を始めよう

と、している方もOK

学びたいことを先生に
リクエストできる講座もあります。

のたると夏

((すかっこの市民活動情報))



パソコンやスマホを使えないと困ってしまうことが増えてきているよね。

「詳しくはインターネットで検索してね!」「お申し込みはWebから!」って。
 コロナワクチンの接種申込の時には、自分ではできない人が大勢出てしまったのを覚えているかな?
 デジタル技術があって当たり前になってきてしまったからこそ、
 情報格差をなくすために**情報化支援ボランティア**が必要なんだ。

? 情報化支援ボランティアとは?

? 主な活動は?

情報化支援ボランティアは、パソコンやスマートフォン、インターネットに関する知識を活かして、地域社会のデジタル化を支援するボランティア活動です。誰もが情報通信技術（ICT）を利用できることを目的としています。

- ・スマホやパソコンの使い方を教える
- ・インターネットの安全な使い方を教える
- ・障がい者に向けた機器の利用サポート
- ・福祉施設や学校でのICT導入支援など・・・

サポセンに登録の情報化支援ボランティア団体

- パソコンお助けネットワークよこすか (PON)・・・★◆
- シニアネット横須賀・・・・・・・・・・・・・・・・・・★◆
- PC明日架・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・★◆
- 楽学ICTよこすか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・★◆
- 横須賀PCクラブ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・★◆
- 三浦半島パソコンサポートネット・・・・・・・・・・●
- 産業クラスター研究会・・・・・・・・・・・・・・・・・・★■
- 横須賀市点字図書館パソコンサポートボランティア・▲
- 視覚障害者ITサポート横須賀・・・・・・・・・・・・★

- 〈活動場所〉
- ★ 横須賀市立市民活動サポートセンター
 - ◆ 横須賀市生涯学習センター「まなびかん」
 - 横須賀市立総合福祉会館
 - ▲ 横須賀市点字図書館
 - その他

各団体への連絡先はサポセンにお問合せください。横須賀市立市民活動サポートセンター ☎046-828-3130

サポセンの パソコン講座は、

1回2時間全4回テキスト代込みおひとり8,500円



情報化支援をおこなう団体が先生。とても優しく教えてくれると評判です。初心者でも基礎から学べて実践にも役立ちます。
 「これから市民活動を始めよう!」「PTAや町内会でパソコンを使わなきゃならなくなっちゃった。」という方も対象です。



こどもの夢サポートセンター代表 鈴木 明さん

すじみちが通ったわかりやすい話に先生時代の姿が浮かぶ、こどもの夢サポートセンターの鈴木さんにお話を伺った。

戦後間もない昭和 24 年横須賀市追浜で生まれる。追浜幼稚園、追浜小学校、追浜中学校、追浜高校へ進学した。

子どもの頃は、学年関係なく近所の子たちと山へ行ったり海へ行ったり、毎日遊び放題遊んでいた。夏前には野島の方で、家族みんなで取り切れないほどアサリ堀をし、畑もたくさんあっていろんなものを作ったり、うんと楽しかったという。

國學院の文学部に進み源氏物語のゼミに参加。卒業論文は「万葉植物の研究」。各地を歩いて、作品に出てくる植物の研究をした。

植物好きは、小学生の頃から。当時流行ったサボテンの栽培、日本の山を歩いてスマレを集め、カトレアの収集と研究、花と一緒に 70 年間過ごしてきた。学生時代には生け花の免許も取っている。

小中学校のときから教員に憧れて教職課程を修め免許習得。地元横須賀で採用され以後 38 年間中学を務めた。「結婚するまでは、土日まで、子どもと遊んでいた。家に呼ぶことも年中。持っていた畑に連れてきて栽培や雑草取り、みんな楽しそうだった」

追浜中学校の在任中、鷹取川が汚く、川沿いが雑草のラインになっていた。中学近くの 150 メートルをフラワーラインにしたいと毎日放課後に耕した。次第に、先生方、親御さんも手伝ってくれるようになり、PTA が組織的にやろういうことになっていった。秋に種まきして春には菜の花。春に種まきして秋にはコスモスが咲き、きれいなフラワーラインになった。そして、市の援助も受けて何十年も地域の人の手で守られている。「学校と地域とみんな力を合わせるって大事な」と教えられた気がした。

大津中学に赴任したとき恩師を助け、県大会常連の柔道部の副顧問となる。恩師の異動に伴って翌年、柔道部の顧問になった。しかし、鈴木さんには柔道経験が無い。

部員たちの前で「柔道はできないけれどみんなを強くして

県大会に連れて行きたい」と話した。「柔道を教えなくていいから、僕たちと一緒にいる時間をくれ」と言われた。そうだ、指導はよそに頼もう。鈴木さんは、近隣高校の強豪校に頭を下げ、毎週練習を依頼。夜には、近くの渡邊道場を利用した。親御さんたちの協力もあり、子どもたちはみるみる強くなって、県大会から、数年後には全国大会にも出場。15 年間で 8 回の全国大会、最高全国 3 位の表彰台に立った。

大矢部中学の校長時代、横須賀でも不登校の子がととも増えてきた。不登校の子が、学校に来られる部屋を市内の学校ではじめて作った。けれど、勉強したくても教えてくれる人がいない。かつての経験から「地域の人で、勉強を教えてくれる人がいるのではないか？」と思い「午前中だけでも勉強を教えてくださいませんか？」と各町内会長宛に手紙を出した。7 名ほどの応募があり生徒 7～8 人に国数英を教えることができた。

定年退職後、定時制高校の臨時教員、スーパーの品出しと発注、仲間と野菜の露店販売を経験。そして 2 年後、請われて「NPO 法人こどもの夢サポートセンター」の設立に加わった。

「今、NPO やっていても地域の力で学校の役に立つことはないかと思っている。先生方の力と、地域の力と、親御さんたちの力と、みんなの力をあわせて子どもたちを主人公にするというのが楽しい。」

子どもたちのために明け暮れ、「お父さんとしてはいまひとつだった」と話す鈴木さん。次の夢は、趣味のジャム作りを事業化して、大会に出品したいという。いい先生、いい仲間、いい家族に恵まれて、夢を追い続けてほしいと思ったインタビューでした。

(はこぎき)



団体紹介

こどもの夢サポートセンター

子どもの学習支援・ひきこもりの方の就労支援・居場所づくり・アウトリーチ（訪問支援）・フリースクールの運営、農業を主軸にした地域への社会貢献活動などもおこなっています。2015 年、退職した教職員を中心として設立。「貧困の連鎖を断ち切るための学習支援」を目標とし、子どもたちの全日制高校進学を全力で支援しています。



くわしくはホームページで！

 ねえねえぬまちゃん、ボランティアって行ってみたいと雰囲気が分からないじゃない？初めて参加する前にどんな感じかわかると安心なんだけどなあ…。

 うっ…そっか。ちょっと目立たないのかなあ。会報ファイルって、それぞれの団体の個性が出ているし具体的な活動も分かって面白いから、ぜひ見てほしいなあ。

 団体の雰囲気があ、それなら会報ファイルを見てみるのはいかがかな。

 会報ファイル？

 ふーんどれどれ…。あ、公園に来る鳥さんのことがすごく詳しく書いてある！こっちは町内会の会長さんが地域の色んなことを書いてる。スルメを干してごめんなさいだって！面白～い♪えー、公園のボランティアしようかなあ！この町内会に引越したいなー！

 ○○通信とか、○○活動報告とか。団体から会員さんに定期的にお便りを出しているところがあって、それをサポセンに来た人が誰でも見られるようにファイルしてあるんだよ。

 そんなのどこかにあったっけ？

 えええっ、それで引越しまで決めちゃうのは心配だよ！引越すときはスーパーが近くにあるか、そのスーパーは頻繁に安売りをやっているか、夕方は何時にお惣菜が割引になるか、そういうことを調べないと！

 図書館の書架があるでしょ？その隣に横須賀市の歴史の本とか、辞書とか並べてある本棚があって、そこに色々な団体の会報ファイルを置いてあるよ。

 ほんとだ！なんか難しいファイルが並んでいる場所だと思って気がつかなかったー。

 ぬまちゃん、スーパーのことばかり…。そうだよな、大事だよな。最近はお米も高いし。わかるよ、ぬまちゃんの苦労。

意外な鯉の仲間たち

甘党錦鯉

第26回

「ドジョウって何の仲間か知ってますか？」

と、ある日突然聞かれた甘党、その場ではすぐに答えが出てきませんでした。

皆さんはドジョウがなんの仲間かご存じでしょうか？

勤のいい読者の皆さんはもうお気づきかもしれませんね。

実は、ドジョウって鯉の仲間なんです。

見た目は細長くて田んぼの底に棲んでいる。泥の中にもぐるのが得意な、ちよっと地味な魚…そんなイメージのあるドジョウですが、「コイ目」に分類されるれっきとした鯉の仲間なんです。

…ん？鯉の仲間？

そういうえば、錦鯉も、もとをたどれば真鯉から色々な品種ができていたはず…

ということは、ドジョウも育て方を工夫したらもっと鮮やかな品種がでたりして…

実際、世界には「クーリーローチ」や「クラウンローチ」という「しましま模様」のドジョウもいるんです。観賞魚として大人気のドジョウなんですよ。もしかしたらそのうち品種改良によって「錦ドジョウ」なんて観賞魚にお目にかかれるかも…

とはいえ、ドジョウはもともと田んぼの中や小川、水路などの水の流れが緩やかで、泥の多い場所が大好き。ドジョウが田んぼにいることで害虫の卵や幼虫を食べてくれるので、自然の力で害虫を減らすことができるそうです。

それに、水の中のプランクトンを食べてくれるので水をきれいにしてくれるんです。ドジョウは生態系のなかでも大切な役割を果たしているんですね。

うーん…そんな役割があるなら、ドジョウは今の姿のままでもいいような気がしてきたなあ。ドジョウにはドジョウの良さがありますもんね。

皆さんもドジョウを見かけることがあったら、「ドジョウって、きれいな自然を作ってくれる鯉の仲間なんだよ」って周りの人に教えてあげてくださいね。ではまた…

(おぐしげひこ)

サポセンtopics トピックス

軽い 青い たおれない 展示用パネル

サポセンの活動紹介コーナーの展示用パネルが新しくなりました。

以前のパネルは重くて運ぶのがとっても大変。設置するときは指が挟まれやしないかヒヤヒヤしながら組み立てたものです。新しくなった展示用パネルは9枚。ころころと床を滑らせ運びます。画鋏もさしやすく、とても言うことを聞いてくれます。パネル面積も大きくなりましたよ。



サポセンは、福祉、まちづくり、文化、環境、国際、災害救援など、あらゆる分野の市民活動をサポートする施設。9時から22時、土日も開館。印刷や打合せなどができます。

サポートセンターのホームページ「のたろん Web」は

「のたろん」で検索♪

のたろん

検索



情報誌「のたろん」夏号 (通巻 103号) 2025年7月1日

発行 横須賀市立市民活動サポートセンター

編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート

横須賀市本町 3-27 (京浜急行 汐入駅 徒歩 1分)

TEL 046-828-3130

FAX 046-828-3132

市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

